

● 大平新五く古陶と焼もの>

2020年 3月14日.土 — 3月22日.日

作家全日在廊 OPEN 11:00 — 18:00 定休日18日



うつわ 菜の花

信楽壺 室町前期 h 225×w225×d 225

常滑壺 平安時代 h 363×w363×d 363



壺 (自作) h145×w167×d167

大平新五さんの古陶と作品が届いた。信楽の壺は胴回り形が素敵だ。しっかり景色のある室町前期の作である。常滑の古壺は『うずくまる』に似ているが、鎌倉時代の焼締めだという。大きい方の壺は平安時代のもの。口が欠けていてほっとさせる。その他、写真には無いが、室町時代の備前の壺と陶板、信楽の古い窯元からの棚板、李朝白磁の型手平皿と茶碗などが来るというから楽しみだ。木のものも前回に引き続き、船板や古材が大小いろいろ来るらしい。使う人のことをよく考えて選んでいるのだろう。



破れ壺 (自作) h230×w276×d270

彼の作品で焼締の丸い茶碗は、大平さん自身に似ている気がする。今回初めて信楽の土で須恵器っぽいやきものに挑戦し、上がりが良かったという。上が飛んでいる壺も、なかなか良い。「古いものに負けんようなものを焼きたい」という。なるほど彼の作るものは、古いもののようにでもあり、おもしろい。古いものを新鮮に提示してくれている。

2020.2.29 高橋台一

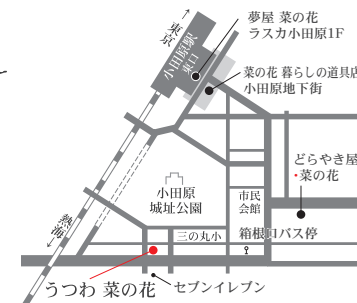


美濃陶板 h265×w225×d20

うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12
電話0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ
向かうバス利用
[箱根口]バス停下車徒歩2分
セブンイレブン向かい側



<次回企画展> 白杵春芳〈漆の大盆と椀〉 2020.4.4(土) - 4.12(日)